

令和2年6月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和2年6月26日（金）午後1時30分～午後2時40分

2 場 所 教育センター 第5研修室

3 出席者〔教育長〕大岩幹夫

〔委 員〕中川奈緒美(教育長職務代理者)、寺本彰、清水国明、吉本理
宮本陽子

〔事務局〕千葉裕之教育総務部長、出居正之学校教育部長、市川雅美教育
総務部次長、関根祐一学校教育部次長兼学校教育課長、森
田幸夫教育施設担当参事、池田隆人保健給食担当参事兼保健
給食課長、長谷川陽子教育センター担当参事兼教育センター
所長、糟谷苗美教育総務課長、吉川誠学校教育課教育指導担
当主幹兼健やか輝き支援室長

〔書 記〕武政直行教育総務課主査、名雪晋祐教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 1名

6 開 会 本日の議案は、なし。

なお、報告事項のうち「所沢市教育委員会内組織の見直し
について」は政策決定過程のため、「県費負担教職員の人事
について」は人事に関する報告のため、また、「市内中学校
における事案の経過報告について」は個人に関する情報が含
まれるため、及び今後の対応について率直な意見交換を行う
必要があるため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」
第14条第7項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出
席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

7 議題 なし

8 協議事項 令和3年度所沢市立所沢第二幼稚園園児募集について

資料に則り、関根学校教育部次長兼学校教育課長より、以下のとおり説明がなされた。

「保育料」については、昨年の10月から「国による幼児教育・保育の無償化」
が実施されたことに伴い、「月額9,500円」を「幼児教育・保育の無償化に
基づき無償」と修正する。日程の実施時期について、変更はない。募集人員につ

いては70名とするもので、今後、広報ところざわ10月号等で広報を行い、健康診断、親子面接を経て、12月中旬に入園決定通知書を発送する流れである。

令和3年度の入園児は、平成28年4月2日から平成29年4月1日に生まれた幼児が対象となる。令和3年度の市全体幼児数は2,685人であり、そのうち、所沢第二幼稚園の通園範囲である荒幡・山口地区の対象幼児は126人である。過去3年度の該当地区幼児数における所沢第二幼稚園の入園率は、平成30年度の10.8%が一番高く、令和2年度の6.8%が一番低くなっている。また、平均は9.6%である。これらの数字に基づき推計を出した結果、令和3年度の新入園児数は、9人から14人と予想される。

以下、質疑。

(吉本委員)

保育料が無償になったことについてですが、私立はどのような状況ですか。

(関根学校教育部次長)

私立も同様の取扱となります。

(吉本委員)

教育委員会会議において廃園の方向が決定されていますが、募集が継続されている状況ですので、もう一度専門家会議を開催するなどして、廃園の提案をしていただければと思います。

(関根学校教育部次長)

廃園の方向については、平成30年7月の教育委員会会議において、廃止の時期を、廃止後の施設活用など適切な措置を講じたうえで決定するとして議決を得ています。現在、廃園後の施設活用について、関係各所と協議を行っていますが、跡地利用が決まっていないため、廃園の方向は変わらないものの、その時期は明確になっていない状況です。

(宮本委員)

途中入園について、例年動きはあるのでしょうか。

(関根学校教育部次長)

数名はあると把握しております。

(中川委員)

年度別入園率の推移を見ると、平成30年度が10.8%、令和元年度が

10.7%、令和2年度が6.8%となっていて、今年度大きく下がっています。理由としては、保育料の無償化によって、どこの園を選んでも保育料が無償なのであれば、ということで他の園を選んだ可能性が高いと考えられます。このことから、地域の核としての幼稚園の良さというものが浸透しているとは言い難い、という結論になると思いますので、廃園に向けて舵を切るべき時が来たという一つのデータではないかと考えます。

(大岩教育長)

他に意見等がありますか。

《意見等なし》

(大岩教育長)

それでは、各委員の意見等を踏まえた対応をよろしくお願いします。

9 報告事項

所沢市教育委員会後援等名義使用許可について(教育総務課)

所沢市教育委員会の6月から9月までの主な行事予定について(教育総務課)

山口中学校既存擁壁改修工事請負契約締結に係る市議会提出議案議決の教育長臨時代理について(教育施設課)

新型コロナウイルス感染症への対応について(教育総務部・学校教育部)

以下、質疑。

(寺本委員)

オンライン学習できる環境がない家庭はどれくらいあって、その場合どのように対応していますか。

(長谷川教育センター担当参事)

95%の家庭にオンライン学習できる環境があります。環境がない5%の家庭に関しては、希望に応じて学校が相談に乗り対応しています。

(寺本委員)

オンラインで学習したことが有効であったかを検証する機会があると良いのではないのでしょうか。こうやったらうまくいった、これはうまくいかなかった、というように、先生同士が教科ごとや学年ごとに情報共有をしておく、第2波、第3波が来て、オンライン学習の必要性がさらに高まった時に役立てられると思

います。

(中川委員)

今年度は、全国学力・学習状況調査が中止になり、どれくらい学力が定着したかを知る手段がありませんので、先生方にとって、これだけ教え方が変わってきてしまったけれども、これだけ力がついているということが分かる目安になるものがあると良いと思います。

また、部活動に関してですが、もし無理をしてつらい思いをしながら参加している子どもがいるとしたら、部活動が中止になっていたことで、この期間、苦しい思いをせずに過ごせたかもしれません。部活動はそれほど無理してやるものではなく、楽しいことを皆で集まってやろうよ、というように新しい価値観への転換になれば、それは素晴らしいことではないかと思います。

人との接点を断つということはつらく苦しいものではありませんが、一方で今まで苦しんでいた人が、それをきっかけに癒しになっている側面もあると思いますので、今回変わらざるを得なかったシチュエーションをもって、より人間が生きやすくなる社会にシフトしていけるように、そのような側面も大切に見ていってほしいと思います。

(吉本委員)

土曜日授業についてですが、他市では実施する自治体もあるようですので、学習時間の確保に隔たりが出ないように、検討していただければと思います。

また、不登校についてですが、昨年度と比べての状況を教えてください。

(関根学校教育部長)

新型コロナウイルス感染防止のため、少しでも体調が優れなければ登校を控えていただいている、その場合は、欠席ではなく出席停止扱いとしており、欠席者の中には、その人数も含まれます。そのような理由から、昨年度と比べると欠席者は増えている状況です。

(出居学校教育部長)

学校の休業が長期間続いたことと、再開後も半日の登校であったり、クラスの登校人数が半分であったりしたことで、全体的な傾向としては、去年学校に通うことに苦労していた子どもが、比較的学校に来ているという話を聞くことが多いです。今週からは、クラスの人数も戻り、午前から午後にかけて授業を行ってい

ることから、子ども達にとって負担に感じ始めるところかもしれませんので、このところは特に丁寧に、また子どもに合わせた対応をしてもらうよう学校にはお願いしているところです。

(吉本委員)

今回のように特異なことが起きた時には、事象として見つけやすいことがたくさん感じられると思いますので、そのような感覚を新任の先生にも伝えてほしいと思います。色々な子どもの、色々な状態が的確に出ていると思うので、よく子どもの状態を見てあげてほしいと思います。

(宮本委員)

学校の休業期間が長かったことで、学校に通うことが楽しみになったというお子さんの話も聞きます。色々な状況を抱えたお子さんがいるかと思いますが、それぞれの子どもにとって、居場所がある学校であってほしいと思います。今後オンラインドリルがどのように活用されていくか分かりませんが、やりやすく負担がなく、学校に来続けようという気持ちにつながるようにしていただければと思います。

(大岩教育長)

貴重な意見がたくさん出ましたので、参考にして、最終的に子ども達の成長につながるように、今後の対応に活かしていきたいと思います。

《傍聴者 退室》

所沢市教育委員会内組織の見直しについて(教育総務課)【非公開】

《削除》

県費負担教職員の人事について(学校教育課)【非公開】

市内中学校における事案の経過報告について(学校教育課)【非公開】

10 その他

今後の日程

- ・教育委員会会議 7月定例会：7月31日(金)
- ・教育委員会会議 8月定例会：8月21日(金)
- ・学校視察：8月21日(金)

11 閉会 午後2時40分